

富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048 (771) 0505

令和6年12月 1日

発行責任者

校長 吉田 充

2学期の仕上げ

校長 吉田 充

1年で最も長い2学期も、残すところあと3週間ほどとなりました。2学期は、校内音楽会や生活科・社会科見学などの校外学習、学校公開、校内作品展、6年生の修学旅行や陸上競技大会などの多くの学校行事が行われ、有意義な学校生活を送りました。特に校内音楽会では、子供たちは毎日コツコツと練習に励み、本番では心を一つに合わせて感動的な演奏を披露してくれました。温かなご声援をありがとうございました。

さて、12月は2学期の仕上げの時です。学校だより8月号でもお知らせしましたが、2学期の始業式で、子供たちに「人のために役に立つことをしよう」「みんなと力を合わせて仲よく生活しよう」という二つのお願いをしました。ここまでの子供たちの様子を振り返ってみると、自分から進んで行動しようとする場面がだいぶ増えてきているように感じています。例えば、校内音楽会では、子供たちが主体的に進行や運営に関わることで、会場全体の一体感が高まり、感動をより大きなものにしてくれました。行事だけではなく、普段の授業や清掃、係活動といった日常生活においても、みんなで力を合わせ、協力し合いながら活動する様子が見られます。



教育活動の主役は子供たちです。一人一人の子供を主人公に、お互いに主体性を発揮することで、おのずと人の役に立ちたい、協力し合いながら生活をよりよくしたいという気持ちが芽生えるのだと思います。子供たちに活躍の場やチャンスを与え、チャレンジさせることは、主体性を育みながら、協調・協働の心も養います。今後も人と人との

【読書タイム：上級生から下級生への読み聞かせ】つながりや絆を大切に、学校生活を明るく潤いのあるものにしていきたいと思っています。

そこで、2学期の仕上げとして、あと残り3週間で子供たちに意識させたいことは「あいさつの大切さ」です。あいさつをされてただ何となく返すだけではなく、自分から進んで、相手を意識し、心を込めてあいさつができるようにしたいものです。今後も社会生活を送るうえでの基本ともいえるあいさつについて取り組んでまいりますので、ご家庭でもお声がけください。

結びになりますが、これまで子供たちが明るく元気に学校生活を送れましたのも、保護者、地域の皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。残りおよそ3週間、一日一日を大切に、そして楽しい冬休みに向け、元気に学校生活が送れますようご協力をお願いいたします。